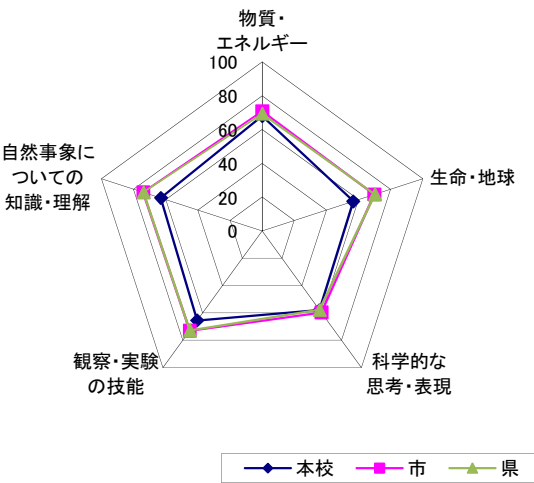


宇都宮市立海道小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	68.1	70.9	69.4
	生命・地球	56.7	69.8	70.1
観点	科学的な思考・表現	57.8	59.7	57.7
	観察・実験の技能	65.5	73.0	72.8
	自然事象についての知識・理解	63.1	74.1	73.9



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	●領域別の正答率は68.1%で、県平均を1.3ポイント下回る。 ●ものと重さに関する問題の平均正答率は67.8%で、県平均を7.7ポイント下回る。その中でも、物とは形を変えても重さは変わらないことについての問題の正答率は、県平均を19.5ポイント下回る。 ●じしゃくのせいしつに関する問題の平均正答率は52.3%で、県平均を5.4ポイント下回る。その中でも、磁石を近づけては行けない物についての問題の正答率は、県平均を14.4ポイント下回る。	・実験を行うに際し、その目的・事前の予想・予想を検証するための実験方法・実験の結果・予想と結果からの考察等をはっきりとさせて学習を進めていく。 ・実験に使用する道具の名前や使用方法をしっかりと押さえる。また、日常生活の中で名前や使い方を確認していく。 ・ものと重さ、じしゃくのせいしつについての設問につまづきがみられた。単元全体を通して実験やデジタル教材で再度確認を行い理解度を高めていくだけではなくポイントを絞って重点的に確認していく。
生命・地球	●領域別の正答率は56.7%で、県平均を13.4ポイント下回る。 ●こん虫と植物に関する問題の平均正答率は59.3%で、県平均を22.1ポイント下回る。その中でも、昆虫の成虫のあしのようなすを表す問題の正答率は、県平均を27.9ポイント下回る。 ●身近なしぜんのかんさつの問題の平均正答率は35.6%で、県平均を18.1ポイント下回る。その中でも、昆虫が特定の場所にいる理由を説明する問題の正答率は、県平均を22.0ポイント下回る。	・こん虫と植物、身近なしぜんのかんさつ、太陽と地面のようすなど、すべての分野でつまづきが見られた。デジタル教材を効果的に使用し、再確認するとともに、特に正答率が低い昆虫の成虫の足のようすを表す問題や昆虫が特定の場所にいる理由を説明する問題については、プリント等を準備し、家庭学習で繰り返し学習できるようにする。 ・植物の育ちの順序については、重点的に取り上げ、身近な植物についての写真を育ちの順に掲示したり、絵に描かせたりして定着を図る。